

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

数値は%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	70	30		指定基準以上のスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	60	40		有資格者が在籍している。日々の療育も基準より多い人数を配置して実施している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	85	15		入口が広く配慮されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	85	15		毎週、定例会議で行っており業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			頂いたアンケートをもとに会議を開き事業改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			HPで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	55	30	15	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	92	8		外部の研修会に積極的に参加をしている。事業所内の研修も実施したい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			保護者様との面談時にニーズを伺う事や、連絡帳や送迎時にご要望を伺い立案している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	92		8	保護者様の同意があれば、外部での検査結果を頂いて支援の参考にしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	92	8		プログラム立案の担当者を決めてチームで立案をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			季節を考えた行事や制作を行うことやご利用者様のニーズを考えて活動の内容を工夫し固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100			平日、休日、長期休暇別にプログラムや課題を考えて実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			個別活動とグループ活動を組み合わせて計画をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			毎朝行い、役割分担や支援内容を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	92	8		終業前に必ず実施し情報を共有している。小さなことでも情報共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			課題内容を記録し、伝達できるようにしている。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			半年に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	100			ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、実施している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	60	40		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	85	15		保護者様からご連絡を頂いて下校時間等の情報共有を行っている。 連絡確認不足がないよう、お互い声かけをしていきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40	60		ご要望があれば実施をしていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				就労支援に向け提案をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	59	33	8	研修会に積極的に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30	25	45	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		60	40	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	92	8		連絡帳や送迎時、お電話等で連絡をして共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	52	40	8	ペアレントトレーニングは実施していないが、保護者様からご相談がある場合は対応方法などご相談している。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			契約時にご説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			ご相談や悩みのある時は、面談やお電話で必要な支援や助言をしている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		40	60	コロナの影響により開催できない状況。状況が落ち着いたら開催したい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			契約時に苦情対応を受け付けていることをご説明し、苦情対応の対応者を決めて苦情があった場合は迅速に対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	70	30		ブログやInstagramを活用している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100			個人情報は鍵をかけて保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			ご利用者様の特性に応じたや情報伝達を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	30	15	55	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	85	15		マニュアルを作成して契約時にお話ししているが、保護者様への周知の方法を考えたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			年に2回、災害や火災を想定して避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			事業所内で研修会を実施し、適切な対応について事例検討を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	52	40	8	身体拘束が必要なご利用者様はいない。今後指針を策定する予定。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	77	15	8	看護師を中心に職員が指示書に基づきアレルギーに対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			ヒヤリハットを作成し、日々の打ち合わせ等で情報共有をしている。